

記者発表(資料配付)				
月/日 (曜)	担当課名	TEL	発表者名	その他の配布先
1/13 (金)	義務教育課 初等・中学校教育班	(内) 5721 362-3772	義務教育課長 西田 健次郎 (副課長兼初等・中学校教育班長 近津 勝豊)	文部科学省
	高校教育課 高校教育改革班	(内) 5793 362-9442	高校教育課長 清瀬 欣之 (副課長兼高校教育改革班長 西田 利也)	
	特別支援教育課 教育推進班	(内) 5726 362-3774	特別支援教育課長 塚本 久義 (主任指導主事兼主幹 森山 剛)	

キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

キャリア教育の充実を促進するため、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる教育委員会、学校及びPTA団体等について、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰します。本年度、本県においては次の3校が表彰を受けることとなりました。

- 1 被表彰校（兵庫県分）
 - (1) 姫路市立四郷中学校
 - (2) 県立上郡高等学校
 - (3) 県立阪神昆陽特別支援学校

2 表彰理由

(1) 姫路市立四郷中学校

四郷中学校ブロック（四郷中学校・四郷小学校）では、社会的自立に向けたキャリア形成の視点を機軸として小中一貫教育でめざす子供像を「夢を持ち続け、自己実現を図れる子ども」としている。中学校キャリア教育目標の、「自分で考え行動し、あきらめずに粘り強くやり抜く生徒の育成」に迫るため、職場体験「トライやる・ウィーク」や「キャリアノート」を活用した取組を中心に推進している。

・ 小中一貫教育

姫路市は全35中学校ブロックで小中一貫教育を推進し、四郷中ブロックにおいては、保幼小中の交流を大切にされた取組が行われている。また、地域とのつながりも強く、「保幼小中合同運動会・体育大会」や「農園プロジェクト」、「No!メディアウィーク」などの取組を実施している。

・ 職場体験

地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」をキャリア教育の中心とし、中学1年時から職業について考える機会を設定している。また、各教科・領域を「キャリアノート」で関連づけ、職場体験から得た学びを一過性のものとせず、事後の生活に活かす工夫をしている。

・ キャリアノート

四郷中学校ブロックは兵庫県教育委員会の「キャリアノート活用に関する研究事業」の指定により、県版キャリアノートをもとに独自の四郷版キャリアノートを作成し、小学校段階からキャリアファイルにファイリングすることにより小学校と中学校をつないでいる。

(2) 県立上郡高等学校

将来様々な集団に所属し、複数の立場で社会生活を力強く営んでいくための知識とスキルを身に付けるため、学校の教育活動全体における体系化を意識しながら、「総合的な学習の時間」において、「社会人基礎Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」として、プログラム化して取り組み、職業人としてのキャリアデザインや地域人・市民としてのキャリアデザインを構築するためのスキルの醸成を図っている。

- ・ 自己理解・他者理解
コミュニケーション能力の育成を目的として、良好な人間関係を構築するための自己表現を知り、実践するためのスキルを身に付けるため、アサーショントレーニングを活動のメインとして、自己理解・他者理解のためのプログラムを展開している。
- ・ 職業人としてのキャリア教育
豊富な体験活動により、職業や社会についての理解を深め、将来職業人として自己実現するための力を身に付けている。
- ・ 地域人・市民としてのキャリア教育
シチズンシップ教育として、公職選挙法改正に伴い、主権者教育や税と社会保険の学習に取り組んでいる。
- ・ 課題発見解決能力の育成
課題発見解決能力の育成をめざし、行政機関等（町役場・商工会等）と協働しながら、地域貢献と活性化を目的にした「上郡町活性化プロジェクト」を展開している。

(3) 県立阪神昆陽特別支援学校

学校経営の重点の中に「キャリア教育・就労支援」として位置づけ、1年時から卒業時には「働く人になる」ことをスローガンに、日々の教育活動全体をキャリア教育の視点を持って実践している。

- ・ 地域連携による体験学習を取り入れた「教科指導」
地域と連携し、体験学習を多く取り入れた3つのコースに分かれ、就労に向けた学習に取り組んでいる。
 - ①流通サービス：近隣の高齢者施設や障害者施設、公民館における清掃実習
 - ②食品加工・農園芸：生産、加工物の小学校や老人ホームにおける販売実習
 - ③福祉・介護：近隣の保育園や高齢者施設の交流会への参加
- ・ 企業、事業所と連携した「職業体験実習」
約80箇所の企業、事業所の協力の下、全校生徒144人が3年間を通して1人あたり合計40日間の実習（校内5日、校外35日）を行っている。それぞれの実習の前後には事前指導約10時間、事後指導約5時間を実施している。
- ・ 離職防止につながる「交流及び共同学習」
同敷地内の県立阪神昆陽高等学校との「交流及び共同学習」を推進し、日々の活動を重ねる中で、様々な人との人間関係形成力を育んでいる。
- ・ 生活自立をめざす「宿泊学習」
 - 1年：宿泊体験学習（1泊2日 企業見学）
 - 2年：修学旅行（3泊4日 民泊、職場体験、企業見学）
 - 3年：生活自立学習（2泊3日 学校の近隣の賃貸住宅での生活体験）

3 表彰式

(1) 日時 平成29年1月17日（火）10：30～11：30

(2) 場所 国立オリンピック記念青少年総合センター 国際交流棟 国際会議室

(参考)

平成28年度被表彰校等	合計	104団体
（内訳）教育委員会		11教育委員会
小学校		19校
中学校		22校
高等学校		35校
特別支援学校		9校
P T A団体等		8団体